

漢字小委員会の審議状況について（経過報告）

<漢字小委員会における審議について>

今期の漢字小委員会は、平成25年2月18日の「国語分科会で今後取り組むべき課題について(報告)」において指摘された課題のうち、以下に掲げる「異字同訓」の漢字の用法の見直しについて」を取り上げ、検討を重ねている。

本分科会では、現在までに検討してきたところを経過報告として示すが、今後、更に検討を続け、今期中に新たな「異字同訓」の漢字の用法（仮称）を取りまとめる予定である。

「異字同訓」の漢字の用法」の見直しについて

国語審議会漢字部会が昭和47年に総会の参考資料として作成した「異字同訓」の漢字の用法」は、同音で意味の近い語が、漢字で書かれる場合、その慣用上の使い分けの大体を、用例で示したものであり、現在も新聞、放送、出版関係など各方面で参考にされている。しかし、作成以来、既に40年以上経過しており、「異字同訓」の漢字の用法」で示された使い分けの中には、現時点における漢字使用の実態に合わないものも出てきている。また、今回の常用漢字表の改定に際して、新たに生じた異字同訓の漢字の使い分け（例えば、「こたえる（答⇔応）」、「つくる（作⇔造⇔創）」など）については、平成22年の文化審議会答申「改定常用漢字表」の「参考」にある「異字同訓」の漢字の用法例（追加字種・追加音訓関連）」として整理されたが、昭和47年の「異字同訓」の漢字の用法」と一体化して示していくなど、一覧性という観点から工夫の余地がある。

このため、「異字同訓」の漢字の用法」の見直しについて、今後、具体的に検討していく必要がある。その際、異字同訓の使い分けに関しては、明確に使い分けを示すことが難しいところがあること、また、使い分けに関わる感覚的な個人差もあることなどから、使い分けの示し方については慎重に検討する必要がある。

検討に当たっての基本的な考え方

1. 作成する資料の性格について

異字同訓の漢字の使い分けに関しては、明確に使い分けを示すことが難しいところがあること、また、使い分けに関わる感覚的な個人差もあることなどから、ここに示したものは、飽くまで一つの参考として提示するものである。

2. 検討対象とする範囲について

(1) 基本的な方針

昭和47年の「異字同訓」の漢字の用法」及び平成22年の「異字同訓」の漢字の用法例（追加字種・追加音訓関連）」を合わせ、更に必要な項目の追加及び不要な項目の削除を行う。

(2) 表外訓と関わる訓の扱い

表外訓と関わる範囲は対象とせず、常用漢字表の表内訓の範囲だけを検討対象とする。例えば、「あずかる」という訓の場合、表内訓「預かる」と表外訓「与る」との関係が存在しているが、そのようなところでまで検討対象は広げない。

(3) 同語異表記の扱い

例えば、「かたよる（偏る⇔片寄る）、たまご（卵⇔玉子）」などの同語異表記については、検討の対象とはしない。

3. 具体的な示し方について

(1) 作成する資料のイメージ

全体を表形式とし、それぞれの項目ごとに、例文を示すとともに、必要に応じて備考欄を設ける。備考欄には、使い分けの参考となる補足情報を中心に記述する。

(2) 前書きのイメージ

前書きについては、昭和47年の「異字同訓」の漢字の用法」に付されている程度の簡単なものとし、これまでの国語施策の経緯であるとか、異字同訓の漢字を使い分けるときの考え方といった総論的なものは書かない。

なお、昭和47年の前書きの3*の内容については、例を加えて、分かりやすい記述となるように改める。（*前書きの3：その意味を表すのに、適切な漢字のない場合、又は漢字で書くことが適切でない場合がある。このときは、当然仮名で書くことになる。）

(3) 使い分けの参考となる情報（解説）の示し方

(ア) 長い解説は、読み手の負担になるという観点から避け、使い分けのポイントになる情報を簡潔に分かりやすく書くように努める。

(イ) 項目によっては、使い分けのポイントとなる、対となる漢字を中心に示す。

例) あたたかい：「温かい⇔冷たい」、「暖かい⇔寒い」 など

「異字同訓」の漢字の使い分け〈ア・カ行〉（現行案）

ア・カ行で、136項目中の59項目

あう

【合う】一致する。合致する。互いにする。

計算が合う。目が合う。服が体に合う。好みに合う。割に合わない仕事。
駅で落ち合う。助け合う。

【会う】主に人と人が顔を合わせる。

客と会う時刻。人に会いに行く。手術の場に立ち会う。二人が出会った場所*。

【遭う】思わぬこと、好ましくないことに出くわす。

思い掛けない反対に遭う。災難に遭う。にわか雨に遭う。

*「であう」については、「駅前で偶然旧友と出会う。」「生涯忘れられない作品と出会う。」のように「人や、その人にとって強い印象を受けたもの、価値あるものと出くわす。」意味では「出会う」、また、「事故に出会う。」「二つの川が出会う地点。」のように「物事や事故などに出くわす。合流する。」意味では「出会う」と表記するのが基本的な使い分けである。

あからむ

【赤らむ】赤くなる。

顔が赤らむ。夕焼けで西の空が赤らむ。

【明らむ】明るくなる。

日が差して部屋の中が明らむ。次第に東の空が明らんでくる。

あがる・あげる

【上がる・上げる】位置・程度などが高い方に動く。与える。声や音を出す。終わる。

地位が上がる。料金を引き上げる。成果が上がる。腕前を上げる。
お祝いの品物を上げる。歓声上がる。雨が上がる。

【揚がる・揚げる】空中に浮かぶ。場所を移す。油で調理する。

花火が揚がる*。国旗が揚がる。たこ揚げ。船荷を揚げる。海外から引き揚げる。
天ぷらを揚げる。

【挙がる・挙げる】はっきりと示す。結果を残す。執り行う。こぞってする。捕らえる。

例を挙げる。手が挙がる。勝ち星を挙げる。式を挙げる。全力を挙げる。
国を挙げて取り組む。犯人を挙げる。

*「花火が揚がる」は、空中に浮かぶ花火の様子に視点を置いた表記であり、花火が空高く上がっていく様子に視点を置いた場合には「花火が上がる」と書く。

あく・あける

【明く・明ける】目が見えるようになる。期間が終わる。片が付く。

子犬の目が明く。夜が明ける。年が明ける。喪が明ける。らちが明かない。

【空く・空ける】からになる。

席が空く。空き箱。家を空ける。時間を空ける。

【開く・開ける】ひらく。

幕が開く。ドアが開かない。店を開ける。窓を開ける。そっと目を開ける。

あし

【足】足首から先の部分*。歩く，走る，行くなどの動作に見立てたもの。
足に合わない靴。足の裏。足しげく通う。逃げ足が速い。出足が鋭い。
客足が遠のく。足が出る。

【脚】動物の胴から下に伸びた部分。また，それに見立てたもの。
キリンの長い脚。脚の線が美しい。机の脚（足）。

* 「足」は，「脚」との対比においては「足首から先の部分」を指すが，脚の部分を含めた全体を指して用いる場合もある（「足を組む」「足を伸ばす」「手足が長い」など）。

あたい

【価】値段。価格。
手間に見合った価。

【値】値打ち。文字や式が表す数値。
そのものの持つ値。称賛に値する。未知数 x の値を求める。

あたたかい・あたたかだ・あたたまる・あたためる

【温かい・温かだ・温まる・温める】（⇔冷たい）。愛情や思いやりが感じられる。
温かい料理。スープを温める。温かな家庭。心温まる話。温かい心。温かい人柄。
温かいもてなし。

【暖かい・暖かだ・暖まる・暖める】（⇔寒い）。主に気象や気温で使う。
日ごとに暖かくなる。暖かな毛布。暖まった空気。室内を暖める。

あつい

【熱い】（⇔冷たい）。温度が高い。感情が高ぶる。
熱い湯。熱くなって論じ合う。熱い声援を送る。

【暑い】（⇔寒い）。気温が高い。
今年の夏は暑い。暑い部屋。暑がり屋。

あてる

【当てる】触れる。的中する。期待する。
胸に手を当てる。ボールを当てる。くじを当てる。当て外れ。

【充てる】ある目的や用途に振り向ける。
建築費に充てる。保安要員に充てる。

【宛てる】手紙などの届け先とする。
本社に宛てられた書類。手紙の宛先。

あと

【後】（⇔先・前）。後続くもの。
後の祭り。後から行く。後になり先になり。事故が後を絶たない。

【跡】 通り過ぎた所に残された印。何かが行われたり存在したりした印。相続。
車輪の跡。船の通った跡。苦心の跡が見える。縄文時代の住居の跡。
立つ鳥跡を濁さず。父の跡を継ぐ。

【痕】 傷のように生々しく残る印。
壁に残る弾丸の痕。手術の痕。台風の爪痕。傷痕が痛む。

あぶら

【油】 常温で液体状のもの。主に植物性・鉱物性。
油を流したような海面。ごまの油で揚げる。火に油を注ぐ。水と油。

【脂】 常温で固体状のもの。主に動物性。
牛肉の脂。脂ぎった顔。脂が乗る年頃。

あやしい

【怪しい】 疑わしい。普通でない。はっきりしない。
挙動が怪しい。怪しい人影を見る。怪しい声がする。約束が守られるか怪しい。
空模様が怪しい。

【妖しい】 なまめかしい。神秘的な感じがする。
妖しい魅力。妖しく輝く瞳。宝石が妖しく光る。

あやまる

【誤る】 間違ふ。
使い方を誤る。誤りを見付ける。言い誤る。

【謝る】 わびる。
謝って済ます。落ち度を謝る。平謝り。

あらい

【荒い】 勢いが激しい。乱暴である。
波が荒い。荒海。気が荒い。金遣いが荒い。荒療治。

【粗い】 細かくない。雑である。
網の目が粗い。きめが粗い。粗挽き。粗塩。仕事が粗い。

あらわす・あらわれる

【表す・表れる】 思いが外に出る。表現する。表に出る。
喜びを顔に表す。喜びの表れ。言葉に表す。不景気の影響が表れる。

【現す・現れる】 隠れていたものが見えるようになる。
姿を現す。本性を現す。馬脚を現す。太陽が現れる。

【著す】 本などを書いて世に出す。
書物を著す。

ある

【有る*】(⇔無い)。

有り余る才能。有り体に言えば。有り合わせ。有り金。

【在る】存在する。

日本はアジアの東に在る。責任は私に在る。在り方。

* 「財源がある」「子がある」などの「ある」は、漢字で書く場合、「有」を当てるが、現在の表記実態から考えると、仮名書きの「ある」が一般的である。

あわせる

【合わせる】一つにする。一致させる。合算する。

手を合わせて拝む。力を合わせる。時計を合わせる。調子を合わせる。
数を合わせる。

【併せる】別のものを並べて一つにする。

両者を併せて考える。併せて健康を祈る。二つの会社を併せる。清濁併せのむ。

いく・ゆく

【行く】移動する。進む。過ぎ去る。

電車で行く。早く行こう。仕事帰りに図書館に行った。仕事がうまく行かない。
行く秋を惜しむ。

【逝く】亡くなる。

彼が逝って3年たつ。安らかに逝った。多くの人に惜しまれて逝く。

いたむ・いためる

【痛む・痛める】肉体や精神に苦しさを感じる。

足が痛む。腰を痛める。今でも胸が痛む。借金の返済に頭を痛める。

【傷む・傷める】傷が付く。壊れる。劣化する。

引っ越しで家具を傷める。建物を傷める。髪が傷む。傷んだ果物。

【悼む】人の死を嘆き悲しむ。

故人を悼む。親友の死を悼む。

いる

【入る】中にはいる。ある状態になる。

念の入った話。仲間入り。気に入る。恐れ入る。悦に入る。

【要る】必要とする。

金が要る。保証人が要る。親の承諾が要る。何も要らない。

うける

【受ける】与えられる。応じる。好まれる。

注文を受ける。命令を受ける。ショックを受ける。保護を受ける。相談を受ける。
若者に受ける。

【請ける】 仕事などを行う約束をする。

入札で仕事を請ける。納期を請け合う。請け負う。下請けに出す。

うた

【歌】 曲の付いた歌詞。和歌。

小学校時代に習った歌。美しい歌声が響く。古今集の歌。

【唄】 邦楽・民謡など。

小唄の師匠。長唄を習う。馬子唄が聞こえる。

うたう

【歌う】 節を付けて声を出す。

童謡を歌う。ピアノに合わせて歌う。

【謡う】 謡曲をうたう。

謡曲を謡う。結婚披露宴で「高砂」を謡う。

うつ

【打つ】 強く当てる。たたく。あることを行う。

くぎを打つ。平手で打つ。電報を打つ。心を打つ話。碁を打つ。芝居を打つ。逃げを打つ。

【討つ】 相手を攻め滅ぼす。

賊を討つ。あだを討つ。闇討ち。義士の討ち入り。相手を討ち取る。

【撃つ】 鉄砲などで射撃する。

拳銃を撃つ。いのししを猟銃で撃つ。鳥を撃ち落とす。迎え撃つ。

うつす・うつる

【写す・写る】 そのとおりに書く。画像として残す。透ける。

書類を写す。写真を写す。ビデオに写る。裏のページが写って読みにくい。

【映す・映る】 画像を再生する。反映する。印象を与える。

ビデオを映す。スクリーンに映す。壁に影が映る。時代を映す鏡。鏡に姿が映る。彼の態度は生意気に映った。

うむ・うまれる

【生む・生まれる】 新しく作り出す。誕生する。

新記録を生む。傑作を生む。下町の生まれ。京都に生まれる。子供が生まれる*。

【産む・産まれる】 母の体外に出る。

卵を産み付ける。産み月。予定日が来てもなかなか産まれない。

* 「子供がうまれる」については、「出産」という視点を重視して「子供が産まれる」と「産」を当てることもあるが、実際には、「子供の誕生」という視点を重視して「子供が生まれる」と「生」を当てて書くのが一般的である。

うれしい・うれえる

【憂い・憂える】心配すること。心を痛める。
後顧の憂い*。災害を招く憂い*がある。国の将来を憂える。

【愁い・愁える】もの悲しい気持ち。嘆き悲しむ。
春の愁い*。愁い*に沈む。友の死を愁える。

* 「うれしい (憂い・愁い)」は、「うれえ (憂え・愁え)」から変化した言い方であるが、現在は、「うれしい」が一般的である。

おかす

【犯す】法律・規則・倫理などに反する。
過ちを犯す。法を犯す。罪を犯す。ミスを犯す。

【侵す】領土・権利などを侵害する。
権利を侵す。国境を侵す。学問の自由を侵す。

【冒す】あえて行ふ。損なう。
危険を冒す。激しい雨を冒して行く。病に冒される。

おくる

【送る】届ける。見送る。次に移す。過ごす。
荷物を送る。声援を送る。送り状。卒業生を送る。順に席を送る。
楽しい日々を送る。

【贈る】金品などを人に与える。
お祝いの品を贈る。感謝状を贈る。故人に位を贈る。

おくれる

【遅れる】時刻や日時に間に合わない。進み方が遅い。
完成が遅れる。会合に遅れる。手遅れになる。開発の遅れた地域。出世が遅れる。

【後れる】後ろになる。取り残される。
先頭から後 (遅) れる。人に後 (遅) れを取る。気後れする。後れ毛。死に後れる。

おこす・おこる

【起こす・起こる】立たせる。始める。発生する。目を覚まさせる。
体を起こす。訴訟を起こす。持病が起こる。物事の起こり。腹痛を起こす。
事件が起こる。朝早く起こす。

【興す・興る】盛んにする。新たに始める。
産業を興す。国が興る。事業を興 (起こ) す。

おさえる

【押さえる】上から力を加えて動かないようにする。確保する。つかむ。
紙の端を押さえる。証拠を押さえる。差し押さえる。要点を押さえる。

【抑える】 勢いを止める。こらえる。
物価の上昇を抑える。反撃を抑える。要求を抑える。怒りを抑える。

おさまる・おさめる

【収まる・収める】 中に入る。収束する。手に入れる。良い結果を得る。
博物館に収まる。目録に収める。争いが収まる。丸く収まる。手中に収める。
効果を収める。成功を収める。

【納まる・納める】 あるべきところに入る。落ち着く。引き渡す。おしまいにする。
品物が納まった。国庫に納まる。税を納める。社長の椅子に納まる。胸に納める。
注文の品を納める。歌い納める。見納め。

【治める・治まる】 問題のない状態になる。統治する。
痛みが治まる。領地を治める。国内がよく治まる。

【修まる・修める】 人格や行いを立派にする。身に付ける。
身を修める。学を修める。ラテン語を修める。

おす

【押す】 力を加える。
ベルを押す。印を押す。横車を押す。押し付けがましい。

【推す】 推薦する。推測する。推進する。
会長に推す。推して知るべしだ。計画を推し進める。

おそれ・おそれる

【恐れ・恐れる】 おそろしいと感じる。
死への恐れが強い。報復を恐れて逃亡する。失敗を恐れるな。

【畏れ・畏れる】 おそれ敬う。かしこまる。
神仏に対する畏れ。師を畏れ敬う。畏（恐）れ多いお言葉。

【虞*】 心配・懸念。

* 「公の秩序又は善良の風俗を害する虞がある…（日本国憲法第 82 条）」というように、「心配・懸念」の意味で用いる「おそれ」に対し「虞」を当てるが、現在の表記実態としては、「恐れ」又は「仮名書きの「おそれ」」を用いることが一般的である。

おどる

【踊る】 リズムに合わせて体を動かす。操られる。
音楽に乗って踊る。盆踊り。踊り場。踊らされて動く。甘言に踊らされる。

【躍る】 跳び上がる。跳ね上がる。心が弾む。
馬が躍り上がる。小躍りして喜ぶ。胸が躍る。心躍る出来事。

おもて

【表】 (⇔裏)。表面・公式。家の外。
裏と表。昼の表替え。表向き。不祥事が表沙汰になる。表で遊ぶ。

【面】顔。外面。正面。
面を伏せる。湖の面に映る山影。矢面に立つ。

おりる・おろす

【降りる・降ろす】乗り物から出る。高い所から低い所へ移る。途中で退く。
電車を降りる。次の駅で降ろしてください。高所から飛び降りる。
月面に降り立つ。霜が降りる。主役から降ろされる。

【下りる・下ろす】上から下へ動く。切り落とす。引き出す。新しくする。
幕が下りる。肩の荷を下ろす。腰を下ろす。錠が下りる。許可が下りる。
枝を下ろす。貯金を下ろす。下ろし立ての背広。書き下ろしの短編小説。

【卸す】問屋が小売店に売り渡す。商品の数や価値を調べる。
小売りに卸す。卸売物価指数。卸問屋。卸値。棚卸し。

かえす・かえる

【返す・返る】元の場所・持ち主に移す。向きを逆にする。重ねて行う。
元の持ち主に返す。借金を返す。恩返し。正気に返る。返り咲き。手のひらを返す。
言葉を返す。とんぼ返り。読み返す。思い返す。

【帰す・帰る】元の場所に戻る。
親元へ帰す。故郷へ帰る。領土が帰る。帰らぬ人となる。帰り道。

かえりみる

【顧みる】過ぎ去ったことを思い返す。気に掛ける。
半生を顧みる。顧みて他を言う。結果を顧みない。

【省みる】自らを振り返る。反省する。
我が身を省みる。省みて恥じるところがない。

かえる・かわる

【変える・変わる】前と異なる状態になる。
形を変える。観点を変える。位置が変わる。顔色を変える。気が変わる。
心変わりする。声変わり。変わり種。

【換える・換わる】物と物を取り換える。
物を金に換える。名義を書き換える。車を乗り換える。金に換わる。

【替える・替わる】新しく別のものにする。
頭を切り替える。クラス替えをする。振り替え休日。入れ替わる。替え地。
替え歌。二の替わり。

【代える・代わる】ある役割を別のものにさせる。
書面をもって挨拶に代える。父に代わって言う。身代わりになる。投手を代える。
余人を持って代え難い。親代わり。

かおり・かおる

【香り・香る】鼻で感じられる良い匂い。
茶の香り。香水の香り。菊が香る。梅の花が香る。

【薰り・薫る】主に比喩的・抽象的なかおり。
文化の薰り。初夏の薰り。菊薫る佳日。風薫る五月。

かかる・かける

【掛かる・掛ける】他に及ぶ。ぶら下げる。上から下に動く。作用する。
迷惑が掛かる。疑いが掛かる。保険を掛ける。言葉を掛ける。看板を掛ける。
壁掛け。圧力が掛かる。お湯を掛ける。腰を掛ける。ブレーキを掛ける。

【懸かる・懸ける】宙に浮く。託す。
月が中天に懸かる。雲が懸かる。優勝が懸かる。賞金を懸ける。命を懸けて。
懸（架）け橋

【架かる・架ける】かけ渡す。
橋が架かる。ケーブルが架かる。鉄橋を架ける。電線を架ける。

【係る】関係する。関係を持つ。
本件に係る訴訟。名誉に係る重要な問題。係り結び。

【賭ける】賭け事をする。
大金を賭ける。賭けに勝つ。賭け事は一切やらない。

かく

【書く】文字や文章を記す。
漢字を書く。小説を書く。日記を書く。

【描く】絵や図を表す。
油絵を描く。ノートに地図を描く。漫画を描く。

かけ

【陰】光の当たらない所。目の届かない所。
山の陰。木陰で休む。日陰に入る。陰で支える。陰の声。陰口を利く。

【影】光が遮られてできる黒いもの。光。姿。
障子に影が映る。影も形もない。影が薄い。月影。影を隠す。島影が見える。

かた

【形】目に見える形状。フォーム。
ピラミッド形の建物。柔道の形を習う。水泳の自由形。跡形もなく。

【型】決まった形式。タイプ。
型にはまる。型破りな青年。2014年型。血液型。鋳型。

かたい

【堅い】中身が詰まっていて強い。確かである。
堅い材木。堅い守り。手堅い商売。合格は堅い。口が堅い。堅苦しい。

【固い】結び付きが強い。揺るがない。
団結が固い。固い友情。頭が固い。辞意が固い。固く信じる。

【硬い】 (⇔軟らかい)。外力に強い。こわばっている。
硬い石。硬い殻を割る。硬い表現。表情が硬い。選手が硬くなっている。

かたまり

【塊】 かたまったもの。切り取られた部分。
砂糖の塊。脂肪の塊。欲の塊のような人。牛肉の塊を買う。

【固まり】 集まったもの。
星の固まりが見える。学生の固まり。

かま

【釜】 炊飯などをするための器具。
鍋と釜。釜飯。電気釜。風呂釜。後釜に座る。

【窯】 焼き物などを作る装置。
炭を焼く窯。窯元に話を聞く。登り窯。

かわ

【皮】 動植物の表皮。本質を隠すもの。
虎の皮。木の皮。面の皮が厚い。化けの皮が剥がれる。

【革】 加工した獣の皮。
革のバンド。革製品を買う。革靴。なめし革。革ジャンパー。革細工。

かわく

【乾く】 水分がなくなる。
空気が乾く。干し物が乾く。乾いた土。舌の根の乾かぬうちに。

【渴く】 喉に潤いがなくなる。強く欲しがる。
喉が渴く。渴きを覚える。心の渴きを癒やす。愛に渴く。

きく

【聞く】 音が耳に入る。受け入れる。問う。嗅ぐ。
物音を聞いた。話し声を聞く。うわさを聞く。聞き流しにする。願いを聞く。
親の言うことを聞く。事情を聞く。駅までの道を聞く。香を聞く。

【聴く】 身を入れて耳を傾けて聞く。
音楽を聴く。国民の声を聴く。恩師の最終講義を聴く。

きく

【利く】 十分に働く。可能である。
左手が利く。目が利く。機転が利く。無理が利く。小回りが利く。

【効く】 効果・効能が表れる。
薬が効く。宣伝が効く。効き目がある。

きる

【切る】刃物で断ち分ける。つながりを断つ。
野菜を切る。切り傷。期限を切る。電源を切る。縁を切る。電話を切る。

【斬る】刀で傷つける。鋭く批判する。
武士が敵を斬（切）り捨てる。世相を斬る。

きわまる・きわめる

【窮まる・窮める】行き詰まる。突き詰める。
進退窮まる。窮まりなき宇宙。真理を窮（究）める。

【極まる・極める】限界・頂点・最上に至る。
栄華を極める。不都合極まる言動。山頂を極める。極めて優秀な成績。見極める。

【究める】奥深いところに達する。
学を究（窮）める。

こう

【請う】そうするように相手に求める。
許可を請（乞）う。紹介を請（乞）う。案内を請（乞）う。

【乞う】そうするように強く願い求める。
乞う御期待。命乞いをする。雨乞いの儀式。慈悲を乞う。

こえる・こす

【越える・越す】ある場所・地点・時を過ぎて、その先に進む。
県境を越える。峠を越す。選手としてのピークを越える。年を越す。度を越す。

【超える・超す】ある基準・範囲・程度を上回る。
現代の技術水準を超える。人間の能力を超える。想定を超える災害。
百万円を超える額。一千万人を超す人口。

こたえる

【答える】解答する。返事をする。
設問に答える。質問に対して的確に答える。名前を呼ばれて答える。

【応える】応じる。報いる。
時代の要請に応える。期待に応える。声援に応える。恩顧に応える。

こむ

【混む】混雑する。
電車が混（込）む。混（込）み合う店内。人混（込）みを避ける。

【込む】重なる。入り組む。
負けが込む。仕事が立て込む。手の込んだ細工を施す。